アレンジする際の留意点
<学習習慣>

低学年では、家の人に問題を書いてもらい、答えを書く方法も有効。
量よりも内容を重視。
見やすいノートにすることが長続きさせることにつながる（自分で後で振り返ることができるように。）。
自主学習ノートの形式については、学校や学年に応じて統一したものを示すことが望ましい。

【国語】
・漢字の成り立ち・部首
・教材文の作者について
・他作品との読み比べ
【社会】
・地図の模写
・人物について調べ学習
・分かったことから考えたこと
・年表にまとめる学習
【算数】
・気付いたことをまとめる学習
・既習事項を元にした問題作り
・作図による模様作り
【理科】
・実験の方法の予習・復習
・発展的な観察・実験
【生活、音楽、図画工作、家庭、体育、外国語、総合】…

自主学習のおすすめメニュー

＜分かりやすい自主学習ノートを作ろう＞
○ 1日1ページを目安に、毎日つづけて取り組む。
○ 左上に、日づけを書く。
○ 学習したことを小見出しにしてわくでかこむ。

一人でできるよ！（きそきほんの学習）

○ 習った漢字の書き方や読み方を練習する。
○ 習った計算問題の練習をする。
○ 学習して分かった考え方などを自分の言葉でまとめる。
○ 学習したことをふり返って、自主学習ノートにまとめる。
※ 文字のけいこや、ドリルなどを活用しましょう。

くふうできるよ！（はってん・主体てき学習）

○ ふしぎに思ったこと、もっと知りたいことを調べて書く。
○ テストでまちがえたところをもう一度やって、できるようにする。
○ 次の日に学習するところを見て予習をする。（高学年）
○ おうちの人や地いきの人（名人、お店、しせつ）にインタビューする。

毎日できるよ！（けいぞく的な学習）

○ 教科書の音読をする。
○ 好きな本を毎日読む（読書日記）ー学校や地いきの図書館で本をさがしてみよう。
○ かんさつ・じっけん日記を書く。
○ 図かんや事てん、じしょ、地図を手のとどくところにおいておき、きょうみがわくことや分からない言葉に出会ったときに見る。

ーいろいろな組み合わせを楽しみながら、オリジナルノートを作ろうー

全学年を通してできること（視写、短作文、計算など）、学年が上がるにつれてできることを適宜示すことが大切です。地図記号の学習からオリジナル地図記号を考えたり、昆虫の体のつくりをポイントを押さえてイラストで書いたり、電気のはたらきの実験を家にあるものでもしたり、家庭科の調理実習の発展としてアレンジ料理に挑戦したりするなど、学習を組み立てる習慣ができるよう工夫しましょう。

漢字は送り仮名を付けたり、熟語で練習したりする。
高学年では、授業と関連付けた自主学習も考えられる。よい取組があれば、紹介するなどして賞賛することで本人の励みになり、周りの子どもの参考となる。
計算問題については、できるだけその場で答え合わせをして（本人でよい）間違いを直すことができるようにする。

毎日少しずつ継続することが大切。自主学習ノートに書くことが難しいものについては、取組が目に見えるようカードに印を付けるなど、「がんばった自分」が分かるように工夫する。